

JIS

情報処理用語（プログラム言語）

JIS X 0015 : 2002

(IP SJ・ITSCJ/JSA)

(2007 確認)

平成 14 年 6 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	棟 上 昭 男	東京工科大学メディア学部
(委員)	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	石 崎 俊	慶應義塾大学
	伊 藤 文 一	財団法人日本消費者協会
	岩 下 直 行	日本銀行金融研究所
	大久保 彰 徳	社団法人日本事務機械工業会
	岡 本 秀 樹	財団法人日本規格協会
	岡 山 淳	総務省行政管理局
	笈 捷 彦	早稲田大学
	喜 安 拓	総務省情報通信政策局
	小 町 祐 史	松下電送システム株式会社
	近 藤 昭 弘	株式会社日立製作所
	斎 藤 輝	日本アイ・ピー・エム株式会社
	関 口 裕	社団法人電子情報技術産業協会
	成 田 博 和	富士通株式会社
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	平 松 幸 男	日本電信電話株式会社
	伏 見 諭	社団法人情報サービス産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 川 秀 眞	財団法人日本情報処理開発協会
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	渡 辺 裕	早稲田大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 62.4.1 改正：平成 14.6.20

官 報 公 示：平成 14.6.20

原 案 作 成 者：社団法人 情報処理学会（〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 機械振興会館 308-3
TEL 03-3431-2808）

財団法人 日本規格協会（〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 杉浦 賢）

審議専門委員会：情報技術専門委員会（委員長 棟上 昭男）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省 産業技術環境局標準課 情報電気標準化推進室[〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人情報処理学会情報規格調査会（IPSI・ITSCJ）/財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS X 0015**：1987 は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、日本工業規格を国際規格に整合させるため、**ISO/IEC 2382-15**, Information technology—Vocabulary—Part 15: Programming languages を基礎として用いた。

JIS X 0015 には、次に示す附属書がある。

附属書 1（参考） **JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 分類	1
4. 表記法	2
5. 情報処理用語（プログラム言語）	3
附属書(参考) JIS に対応する国際規格との対比表	19
解 説	23

情報処理用語（プログラム言語）

Information technology—Vocabulary—Programming languages

序文 この規格は、2000年に第3版として発行されたISO/IEC 2382-15:2000, Information technology—Vocabulary—Part 15: Programming languages を翻訳し、その技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考は、原国際規格にはない事項である。また、用語の定義部分は、原国際規格では表形式ではないが、この規格では以前からの慣例に従って表形式とした。

1. 適用範囲 この規格は、情報処理におけるプログラム言語に関する主な用語、定義及び対応英語について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を示す記号は、ISO/IEC Guide 21に基づき、IDT(一致している)、MOD(修正している)、NEQ(同等でない)とする。

ISO/IEC 2382-15 Information technology—Vocabulary—Part 15: Programming languages (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。

なお、これらの引用規格は、記載年の版だけがこの規格を構成するものであって、その後の改正版には適用しない。

JIS X 0001 : 1994 情報処理用語—基本用語

備考 ISO/IEC 2382-1:1993 Information technology—Vocabulary—Part 1: Fundamental terms からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS X 0002 : 1976 情報処理用語(算術演算及び論理演算)

備考 ISO/IEC 2382-2:1976 Data processing—Vocabulary—Part 2: Arithmetic and logic operations からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS X 0005 : 2002 情報処理用語—データの表現

備考 ISO/IEC 2382-5:1999 Information technology—Vocabulary—Part 5: Representation of data からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS X 0007 : 2001 情報処理用語—プログラミング

備考 ISO/IEC 2382-7:2000 Information technology—Vocabulary—Part 7: Computer programming からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

3. 分類 用語は、次のとおり分類する。

a) 構文素(15.01 参照)

b) 宣言(15.02 参照)